



栗東市農業協同組合  
代表理事組合長

佐野 宗 二

## ごあいさつ

組合員の皆様には日頃よりＪＡ栗東市の事業全般の運営について格段のご理解、ご支援を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

ここに、ＪＡ栗東市の活動状況や業務内容及び平成 26 年度決算の状況について皆様にご案内するため「ＪＡ栗東市の現況 2015」を作成いたしました。

皆様がＪＡ栗東市の事業をさらにご利用いただくための一助として、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、平成 26 年度を振り返りますと 4 月に消費税の増税、12 月には衆議院解散総選挙が実施され、アベノミクスの成否を分ける成長戦略が進められました。その大きな柱となっているのが農業再生であり、農協の規制改革こそが未来ある農業への一里塚であるとして進められています。

農業面においては、2018 年からの農業者等が主体となる生産調整対応、補助金制度の見直し等ＪＡを取り巻く環境が一変する中において、去る 4 月 27 日滋賀県とＪＡグループ滋賀は本県農業の持続的発展、農業者の経営安定と所得向上および農村の活性化を図ることを目的に農業振興等に関する協定書を交わしました。

こうした県の深いご理解とご指導を仰ぎながら、わたしたちＪＡの組合員・役職員は「協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します」というＪＡ綱領を揺るぎなく進めていかななくてはなりません。

このような情勢の中、平成 27 年度はＪＡ栗東市が誕生して 50 周年の節目の年となります。6 月 8 日には本店金融店舗をオープンいたしました。これからも地域密着の金融機関としての機能を発揮させていただき所存であります。また当ＪＡ子会社においても 1 月 15 日に給油所（ＪＡＳＳ－ＰＯＲＴ栗東）をオープンし、組合員の生活スタイルとニーズに合った事業展開をしております。さらに組合員をはじめ、多くのお客様にご好評をいただいております「田舎の元氣や」では、昨年に引き続き「直売所」「レストラン」「おにぎり亭」の利用促進に努めて参りました。今後も一層の事業伸長に向け顧客サービスの提供に努めて参りますので、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年度の決算結果については、厳しい社会情勢の中ではありましたが、当期未処分剰余金は 3 億 8400 万円となり、組合員の出資配当金を 3% の配当とすることができました。これも一重に組合員の皆様のご支援の賜物と厚く感謝いたしております。

平成 27 年度は向こう 3 年間の中期経営計画と地域農業振興計画の 3 年目にあたります。10 年後の「めざす姿」をしっかりと見据えて、また、その実現に向けて、農家組合員の世代交代、高齢化と人口の減少、農業生産の縮小傾向、農業の大規模化と少数化等といった現状を十分に認識し、「次代へつなぐ協同」による“農業づくり、地域づくり、組織づくり”に取り組んで参ります。

最後になりますが、皆様におかれましては今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

